



臨時レポート

2020年2月28日

ご投資家の皆様へ

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

## 弊社公募投資信託の基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社の公募投資信託の基準価額が本日大きく下落しましたので、その要因等について下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 基準価額および下落率（前日比で5%以上下落したファンド）

(2020年2月28日現在)

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	下落率
しんきんリートオープン (毎月決算型)	4,873	-284	-5.51%
しんきんリートオープン (1年決算型)	15,853	-924	-5.51%

### 2. 主要指数

(2020年2月28日終値)

主要指数 (国内)	終値	前日比	騰落率
日経平均株価 (円)	21,142.96	-805.27	-3.67%
TOPIX (東証株価指数)	1,510.87	-57.19	-3.65%
東証REIT指数	2,017.50	-119.71	-5.60%

(2020年2月27日終値)

主要指数 (海外)	終値	前日比	騰落率
NYダウ (ドル) (米国)	25,766.64	-1,190.95	-4.42%
S&P500種指数 (米国)	2,978.76	-137.63	-4.42%

(参考)

対顧客電信相場	2月28日	前営業日比	騰落率
米ドル (円) TTM	109.43円	-0.89円 (円高)	-0.81%
ユーロ (円) TTM	120.32円	+0.12円 (円安)	+0.10%

(出所) Bloomberg よりデータ取得し、しんきん投信作成

※最終頁の「本資料に関してご留意していただきたい事項」を必ずご確認ください。



### 3. 下落の要因

新型コロナウイルスによる肺炎の世界的な感染拡大への警戒感が広がる中、米国でも「地域感染」の可能性のある事例が確認されたことなどから、投資家心理が急速に悪化し、NYダウは2月27日には前日比1,190ドル安と過去最大の下げ幅を記録、米長期金利は過去最低を更新するなど、金融市場は荒れた展開になりました。28日の東京市場も不安定な動きになり、東証REIT指数は前日比119.71ポイント安(-5.6%)と大幅な下落となりました。投資家のリスク回避から長期金利が低下したことはJリートの下支え材料ですが、2017年11月から堅調な動きが続いていたことから、株価急落を受けて利益確定売りが出やすかったとみられます。また、Jリートの市場規模が株式市場に比べて小さいことから売りを吸収しきれなかったことも、下げを大きくしたとみられます。

### 4. 今後の展開

今後は、新型肺炎の感染拡大による景気などへの悪影響が懸念される中、投資家のリスクを圧縮する動きなどから、不安定な動きが続きそうです。もっとも、内外の中央銀行が緩和姿勢を強めるとの期待が根強い中、米連邦準備制度理事会(FRB)が利下げに前向きな姿勢を示すと、安心感が広がる可能性があります。Jリートの予想分配金利回りは3.8%程度まで上昇し、長期金利との利回り差も4.0%に近い水準です。利回り面からは割安感は強まっており、過度な売りが一巡すると押し目を拾う動きも出てきそうです。とはいえ、新型肺炎の収束のめどが立つまでは、予断を許さない状況が続きそうです。

以上



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。